

平成 24 年 10 月 2 日
海事局 運航労務課
安全基準課

旅客船・フェリーの安全・安心な旅を提供します

－国際海事機関（IMO）の回章を受けた旅客船の安全対策の充実－

本年 1 月に発生した大型客船「コスタ・コンコルディア号」座礁事故を受け、同 6 月、IMO（国際海事機関）の海上安全委員会より、旅客船の安全対策の検証と見直しを勧告する回章が発出されました。

同回章を受け、海事局においては、外航旅客船に関する本勧告への適切な対応を図るとともに、本勧告の発出を契機として、内航旅客船を含めた旅客船全般について安全対策の充実に努めるため、全国の旅客船事業者に対し、現状の安全対策の検証と見直しを実施し、緊急時の旅客避難等に関する安全対策を充実することを推奨していたところですが、今般、各社の安全対策の充実内容について、別添のとおりとりまとめました。

海事局では、別添の内容を、関係事業者にフィードバックすることとしており、これにより、他社の取組事例も参考としながら、さらなる安全対策の充実が各社において図られることを期待しています。

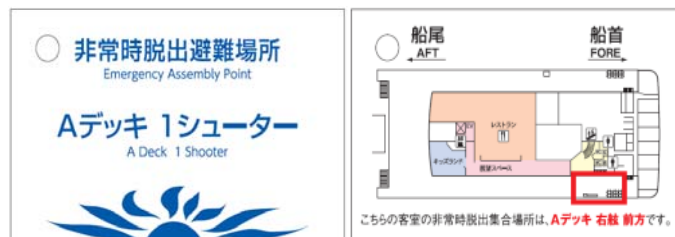
【取組概要】

- 1 IMO回章に沿って、外航クルーズ客船においては、全事業者において救命胴衣の追加搭載を行うための諸手続が進められている他、出港前の避難訓練の実施に向け、積極的に取り組んでいる。
- 2 内航・外航問わず、今回の要請を受け、非常用掲示物及び船内放送の多言語化（日本語・英語・中国語・ハングル）や避難誘導DVDの放映等、避難要領のさらなる周知のための取り組みが多く船社で行われつつある。
- 3 さらに、内航旅客船においても、一部の船社において、旅客に対する船員の操練への参加要請や、船内見学会の見学行程を活用しての救命胴衣の着用、避難ルートの確認、救命設備の説明等の取り組みが検討されている。
- 4 関係団体においても、各事業者の安全対策の充実に支援する取り組みが行われている。

【船内見学会を活用した避難要領の説明】



【船室キーのタグへの避難場所記載】



【参考】

IMO海上安全委員会回章1446「旅客船の安全を高めるために船舶所有者が行う暫定措置に関する勧告」（2012年6月1日）の勧告事項

外航旅客船について

- ① 船室以外への救命胴衣の追加搭載
- ② 旅客に対する避難要領の周知
- ③ 旅客が24時間以上船内にある旅客船の旅客に対する出港前の避難訓練の実施
- ④ 船橋への立入制限の励行
- ⑤ 航海計画に従った航海の実施

※ 当該勧告は、各締約国が外航旅客船を対象とする上記勧告内容を自発的に活用し、関係事業者に安全対策の見直しを推奨することを要請するものであり、内航旅客船を対象とするものではない。

コスタ・コンコルディア号事故の概要

○コスタ・コンコルディア号

- ・2006年建造（造船所：イタリア）
- ・11万4,147総トン、全長約290メートル、幅35.5メートル
- ・乗客乗員：約4,200人（うち、旅客は、約3,200人）

○発生日時（現地時間）

2012年1月13日22:00頃（日本時間14日06:00頃）

同日 19:00 出港：中部チタベッキアを出港
21:30 衝突：中部ジリオ島の約150メートル沖で暗礁に衝突
22:30 退船命令発出
14日 未明 横転

○発生場所：イタリア中部トスカナ州沖合ジリオ島付近

○死者32名、邦人乗客43人全員無事



出典：CBS NEWS

○事故原因については、イタリア政府において調査中である。

問い合わせ先

○救命胴衣の追加搭載について

国土交通省海事局安全基準課 岡井

電話：03:5253-8111（内線43-952）03-5253-8636（直通）03-5253-1644（FAX）

○救命胴衣追加搭載以外の安全対策について

国土交通省海事局運航労務課 志賀、宮西

電話：03:5253-8111（内線45-219）03-5253-8652（直通）03-5253-1643（FAX）